

50代～80代の ライフプランニング

ファイナンシャルプランニング_23
ー資産運用と老後①ー

2024.11. 21

小川FP・行政書士事務所

小川 佳宏

50代－80代~で特に重要ないくつかのことって何だろう？

- 1 今までのキャリアの棚卸をしていつまで就労するか考えていますか？
- 2 公的年金の受給方法と社会保険の壁を知っていますか？
- 3 今、入っている生命保険や医療保険を知っていますか？
- 4 住宅の購入、買い替えを検討していますか？
- 5 自分の資産運用について考えて実行していますか？
- 6 将来、できるだけ介護のお世話にならないように気を付けていますか？
- 7 相続の準備や遺言書は書いていますか？
- 8 さあ、家計や人生の棚卸をして人生100年時代を楽しく準備しましょう。

リタイアメント
ライフプランニング
(※)

※50代でリタイアメントするという意味ではなく、役職定年、定年、第二定年と就労関係のイベントがきますので、早めに意識、準備していく必要があるということです。

資産運用と老後

母さん、自分も会社員が長く無駄使いもしてこなかったから3つの財布を意識して、それなりに貯蓄ができていると思うんだがどうだろうね。



世間の統計を見ているとそれなりにありそうだけど、足りるのかどうかは不安よね。

まだ働き退職金もあるし、公的年金もあるからあまり僕は不安視していないけどね。でも子供たちが巣立っていったら生活の固定費は下げられるかもしれないな。



今の世代、ご自身にいろいろ環境の変化がありますね。会社員だと役職定年、退職、シニア雇用、退職、年金受給。そういう中で、今までの資産運用と奥様含めた余命までの資産の取り崩しなど考える必要があります。

年齢と資産運用って何か関係があるのですか。今までコツコツ長期、積立、分散の原則に沿って資産形成をしてきました。



素晴らしいですね。誰もがそれを実行できるわけではないので、一部の人は老後破産などの問題がでてくるのですね。一方、取り崩していくときに資産運用では取り崩しやすい資産に投資するとよいでしょう。



資産運用と老後

使いたいときに元本が下がっているといやですね。つまり、年をとってからはあまり株式のようなリスクが大きい資産は避けた方がよいということでしょうか。



はい、そういうことになりますが、全く株式投資をしないというより、使う時期に合わせて株式の比率を下げていくというイメージになります。



まあ、理解できますがそんなこと面倒ですね。



まあ、そうですね。iDeCoをやっていらっしゃればターゲットイヤー型という投資信託があります。これは受給開始の時に合わせてだんだん投資リスクを下げていく商品です。



若い時と同じような資産運用してはいけないということですね。年をとってくればできるだけ損をしない資産運用が大事で、自分たちが取り崩す金額と最後に子供たちに残してあげる金額を考えるようにします。



自分で計算するのは結構手間なので、FPに運用、年金、就労収入、生活費など入れて家計のシミュレーションをしてもらおうといいでしょう。



本日、是非、知っていただきたいこと

- ✓ ミドルシニア世代は今後の資産運用と資産の取り崩しの両方を考える必要があります。
- ✓ 運用は手取りからの先取り貯蓄と、取り崩し時期に合わせて年を取ることによりリスクが少ない運用をしていきます。
- ✓ 定年退職後、老後はお金の出入りが大きく変化します。一度、資産運用と取り崩しの家計シミュレーションをFPに依頼するとよいでしょう。

お金には3種類あるのを知っていますか？

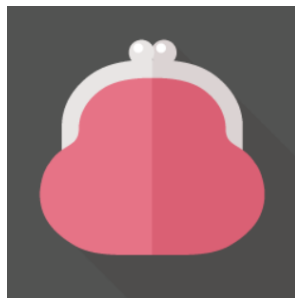
3つのお金を毎月、見えるように分けましょう。
(口座分割、封筒分け、天引き、家計簿アプリ等)



生活費

◆食費や水道光熱費、家賃、通信費のような、生命活動を維持していくのに必要なお金です

◆ここは**資産運用に回しては絶対にいけません。**



緊急のお金

◆結婚や出産、子供の養育費、住宅購入やマイカー購入等の**ライフイベント**のお金です

◆**けがや病気**（健康保険、高額療養費制度を超える金額を把握して、医療保険の必要性を考えます）



増やす

◆特に使う予定のないお金で**資産運用**に回すお金です

◆毎月、一定額を先に確保してから、残りで**生活資金と緊急資金をやりくりする**のが最も賢明な資産の増やし方です

資産を増やす大原則って何？

収入、支出、運用をそれぞれ見直します。資産形成にはこの3つしか方法がありません。

収入

- ◆共働きで**ダブルインカム**。
- ◆仕事の**キャリアの一貫性と専門性**を考えます。自分の強みを認識すれば収入アップの可能性もあります
- ◆会社、役所の制度に強くなって**活用できる給付を全て活用**します

育休、保険料免除、障害年金、失業保険、介護休暇、産休、傷病手当、教育訓練給付等々

支出

- ◆**固定費の見直し**
 - ・家族の携帯電話プラン
 - ・生命保険
 - ・医療保険
 - ・定期購読、会費
 - ・家賃
 - ・住宅ローン金利 等々
- ◆**生活の若干のダウンサイズ**
 - ・外食、旅行
 - ・塾、教育費
 - ・車を手放す、中古車、自動車保険見直し
カリテコ、リース 等

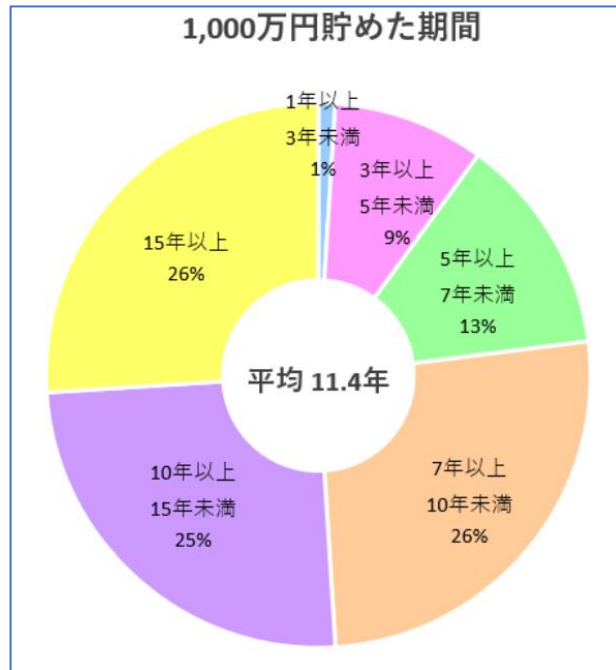
運用

- ◆**3大原則**
 - ・**長期**
時間を利用した**複利運用**
 - ・**分散**
一つの運用先ではリスクが大きく、分散することで損失失敗リスクを最小に、成果を大きくできます
 - ・**積立**
運用に回すことができるお金を毎月一定額積み立てて、手を付けない。

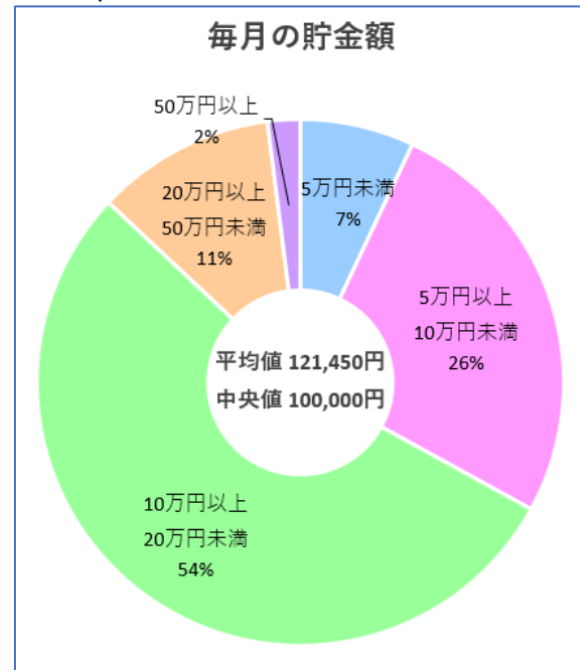
貯金1000万円以上の人の行動

目的、時間軸、意思をはっきりさせるとモチベーションが高まります。

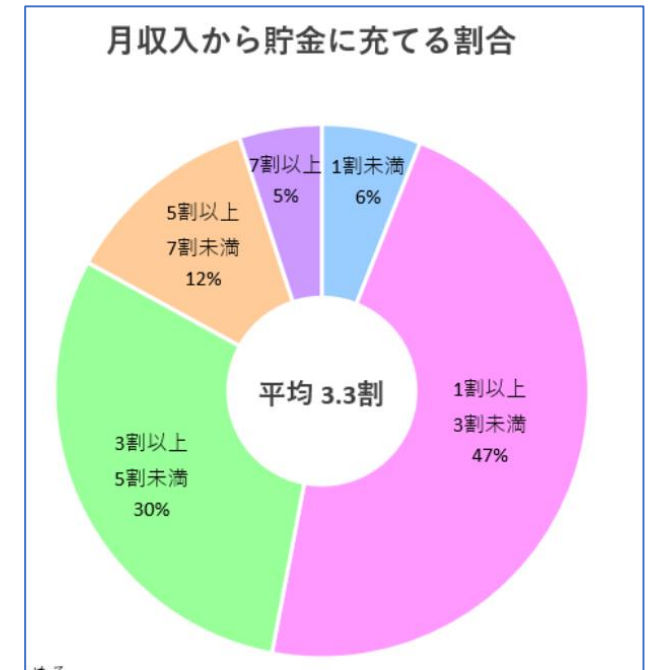
貯める目的は？



毎月の余裕額は？



2割くらいが理想？



出所：まね～ぶHPから筆者加筆

<https://www.money-book.jp/money-research10>

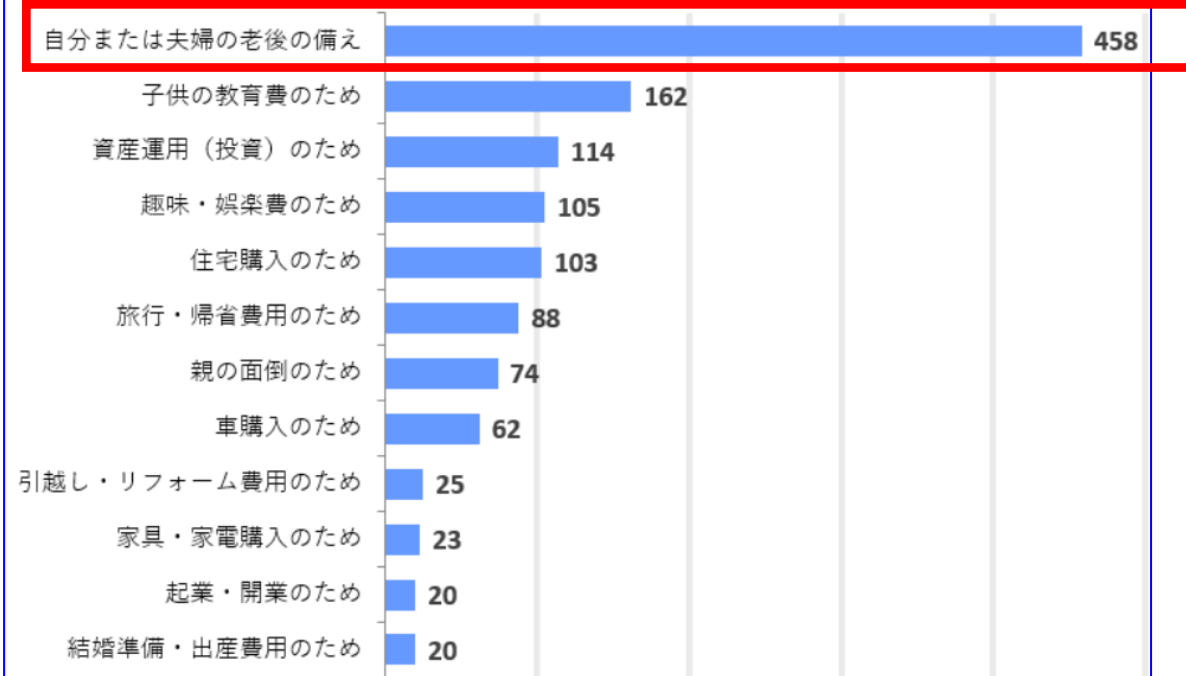
貯金1000万円以上の人の行動

目的、時間軸、意思をはっきりさせるとモチベーションが高まります。

老後、教育、住宅の長期目的
v.s. 娯楽、旅行、家電購入の短期目的

貯金をする理由・目的

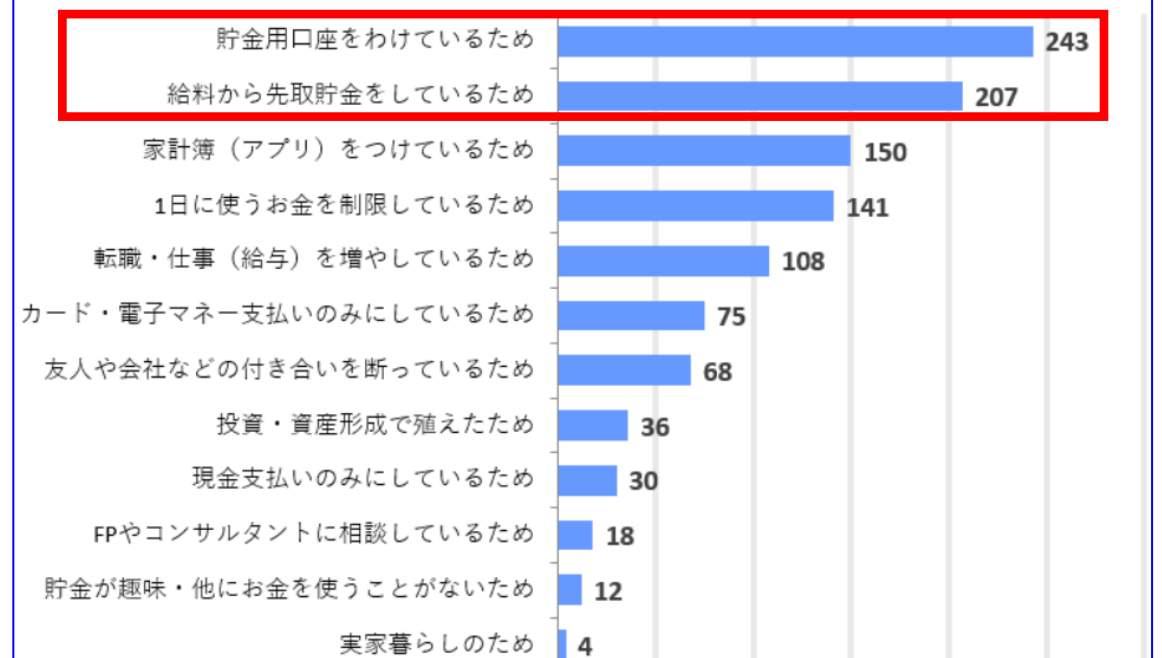
単位：件



分別管理が効果があるようです

貯金の成功理由

単位：件



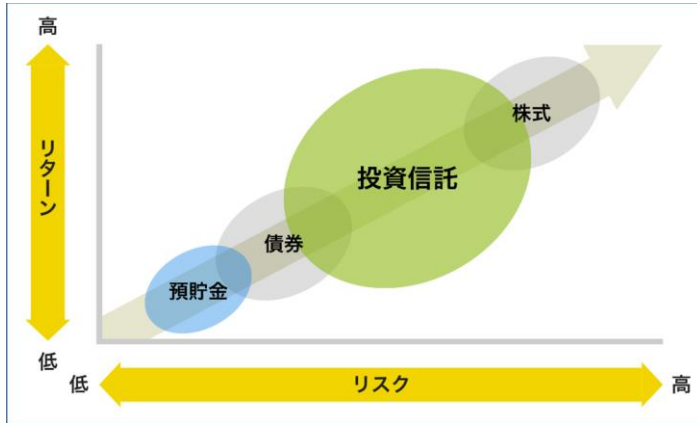
出所：まね〜ぶHPから筆者加筆

日本における資産運用の鉄則

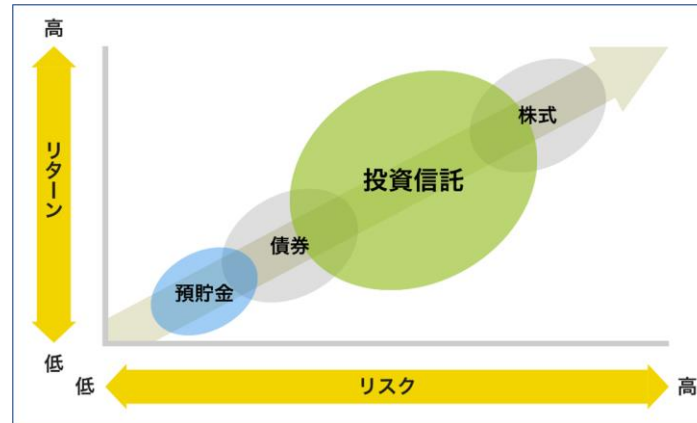
鉄則：非課税スキーム利用＋運用商品の分散選択＋時間活用が最も堅実な方法です

時間

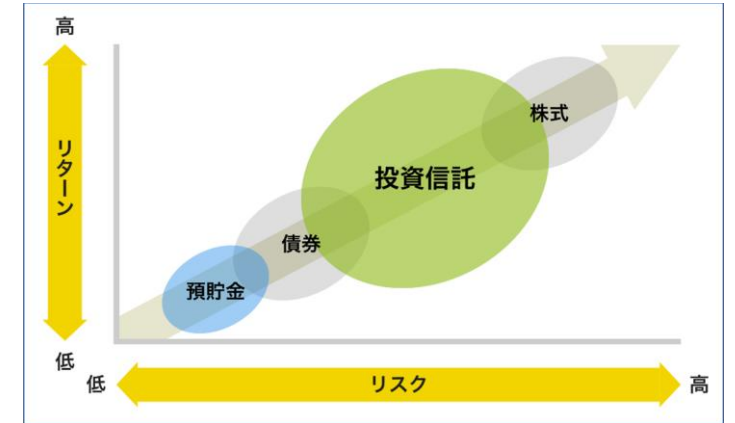
リスク（運用成績のぶれ幅）とリターンで分散をします。できればリターン/リスクが大きい運用商品を見つけるとよいでしょう。若いほどリスクをとれますが、60歳以降は安全運用がよいと言われています。



iDeCo



つみたて投資枠



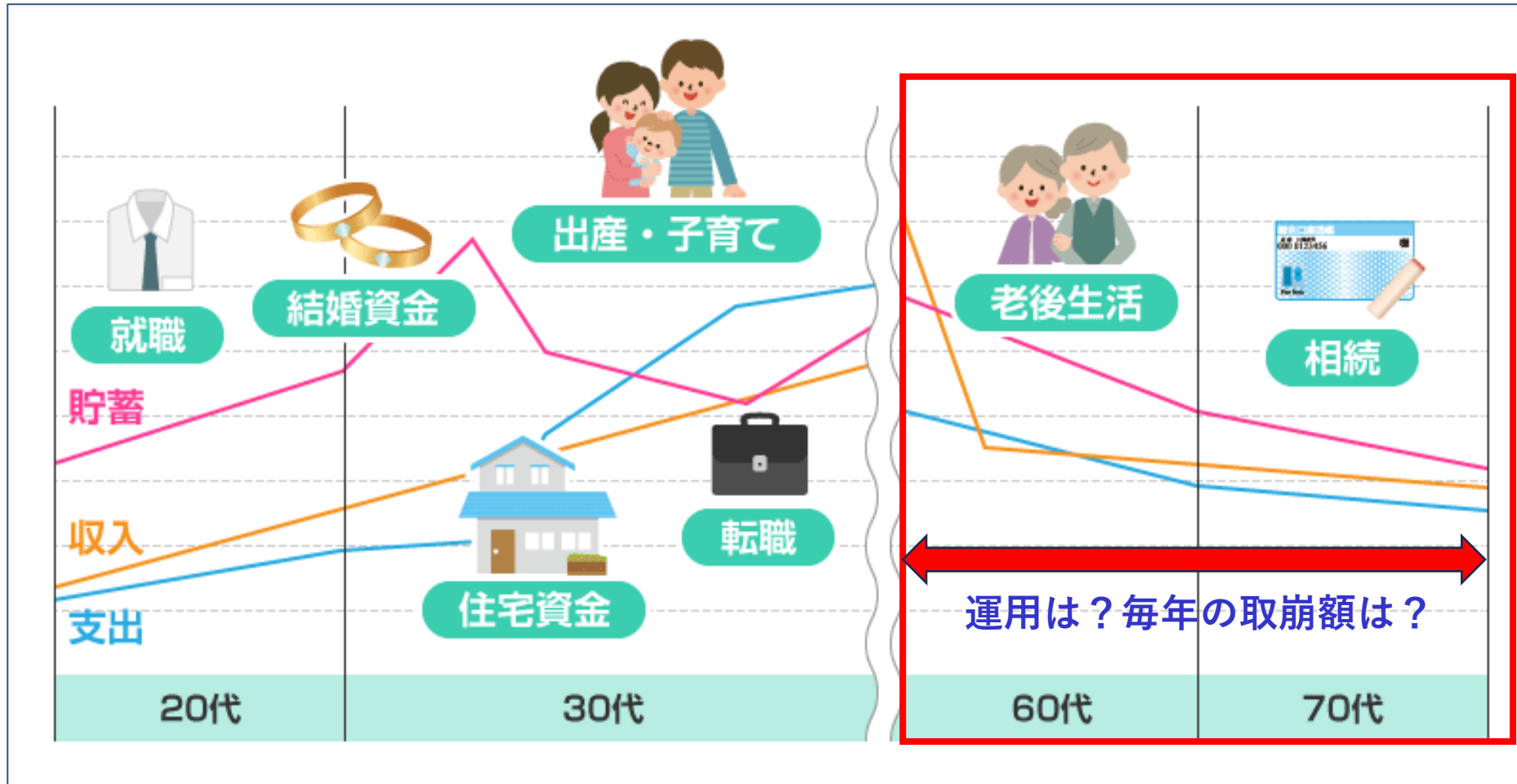
成長投資枠

優先度

令和5年税制改正により、令和6年1月1日からNISAの抜本的拡充と恒久化が図られました。

老後の資産取り崩しイメージ

ミドルシニア世代は投資で増やすことと同時に、効果的に取り崩して使っていく発想が必要です。



出所：金融庁HP

Thinking time !

退職後の資産運用はどうあるべきでしょうか。

ヤング世代の資産運用

- ・若い時はどういう運用をすればよいのでしょうか。
- ・それはなぜそう思いますか。



ミドルシニア世代の資産運用

- ・ミドルシニア世代はどういう運用をすればよいのでしょうか。
- ・それはなぜそう思いますか。

業務範囲 ～当事務所で取扱相談範囲について～

● 個人のお客様のご相談

◆ ライフプランニング

お金の将来を見えるようにします

◆ 贈与・相続支援

ご家族の誰にもご納得いただけるようなプランニングをします

◆ 任意後見・家族信託

移行型任意後見契約や家族信託の利用をご支援します

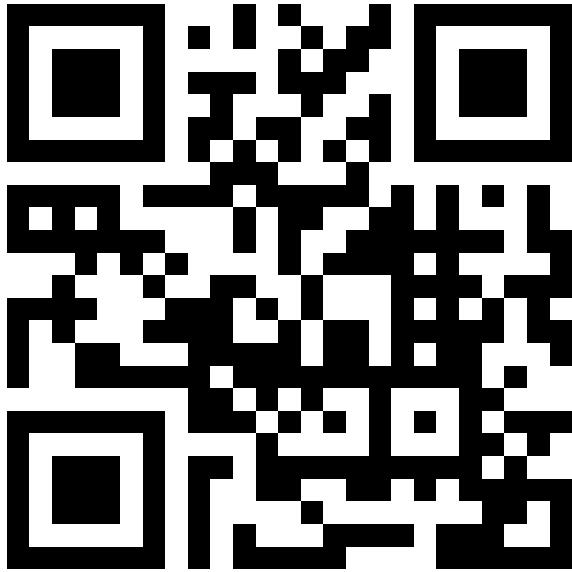
● 各種セミナー

◆ 世代別セミナー

◆ テーマ別セミナー

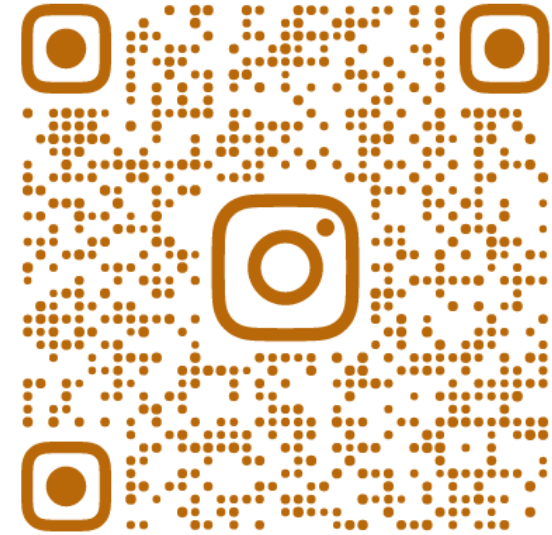
詳細はホームページとインスタをご覧ください

ホームページ



<https://www.fp-aichi-lcm.jp>

インスタグラム



@FP_YOSHISAN